

## 平成29年度 文化資源活用補助金補助金 採択事業一覧表

申請事業	団体名	事業名	事業概要
歴史文化資源活用のための周辺整備事業	川西町	島の山古墳外周防護柵改修および説明板設置事業	島の山古墳周濠を周回する道路のガードレールの劣化が進んでいるため、史跡としてふさわしい安全柵を設置。さらに説明板を取り付ける。
	宗教法人 光明宗 法華寺	歴史文化資源記念碑設置	境内に所在する史跡、名勝、重要有形民俗文化財について、記念碑(石製標識)と説明板を、赤門前に設置する。 奈良時代の中心人物である藤原不比等、光明皇后との関わり(邸宅跡、宮跡であった)を解説し、歴史の理解を図る。
	王寺町	達磨寺所有涅槃図複製品製作事業	達磨寺所有の我が国最古級の仏涅槃図が奈良国立博物館に寄託され、通常は観覧できないため、高度精細画像プリントにより複製品を作成し、達磨寺本堂や町公共施設で展示する。
	桜井市	纏向遺跡建物跡柱列製作設置事業	纏向遺跡では、重大な発見が相次いでおり、辻トリイノ地区で大型建物や大量の桃の種が発見されたものの、現地には解説板1基があるのみなことから、柱列表示による史跡整備を行う。 国庫補助による史跡整備事業は太田地区で実施中のため、別途単独事業として実施する。
	上牧町	画文帯環状乳神獣鏡複製品(レプリカ)製作事業	上牧久渡3号墳出土の画文帯環状乳神獣鏡の複製品(展示用樹脂製品と体験学習用鋳造品の2種類)を製作する。 樹脂製品は町内施設で常設展示し、鋳造品は小・中学性や町民対象の講座等で体験学習に利用する。
	宗教法人 波竇神社	奈良県指定有形文化財 波竇神社本殿周辺整備事業	波竇神社(五條市)本殿が奈良県指定有形文化財に指定されており、近年は登山者や観光客の訪問が増えているが、吉野三山の一つ銀峯山の頂上に位置し誘導看板等も不足していることからアクセス路が判りにくい。道中と境内に案内板及び説明板を設置し、多くの人に文化財としての魅力を知ってもらう。境内の図入り開設板および案内板(誘導板)6基を作成、設置する。
	五條市教育委員会	国史跡宇智川磨崖碑保存・活用事業	宇智川磨崖碑は奈良時代の年号を有する貴重な金石文であるが、所在する場に行くには川を渡らねばならず大変危険であるため、3次元計測技術を用い、見とり模造品を製作し、市立五條文化博物館に展示する。
	三郷町	龍田古道解説案内板整備事業	龍田古道の一つである三室山遊歩道の展望台付近に解説案内板を設置する。
	十津川村	花折塚説明看板設置事業	花折塚は史跡大峯奥駆道の脇にあり、南北朝時代の大塔宮護良親王の家臣、片岡八郎の墓所である。これまで木製の案内看板を設置していたが腐食により壊れたため設置し直すもの。
	宇陀市	宇陀市文化資源活用事業	総社水分神社の黒漆金銅装神輿、黒漆瓶子の説明板を設置する。
	田原本町	唐古・鍵遺跡史跡公園路面案内板設置事業	平成30年4月開園予定の「唐古・鍵遺跡史跡公園」と「唐古・鍵考古学ミュージアム」への来園・来館者が、相互に行き来しやすいため、路面に案内板(約16か所)を設置する。
	春日大社	国宝春日大社御本殿周辺整備活用事業	春日大社本殿4棟をつなぐ板塀に描かれる極彩色の神馬図等は一般公開されていない上、造替時の再描の際に掻き落とされてきたが、今回、最新の技術をもって画面を剥ぎ取り保存したため、額装して公開する。
	橿原市	菖蒲池古墳説明板更新事業	菖蒲池古墳の説明板について、最新の発掘調査成果を盛り込んで板面を取り換える。

## 平成29年度 文化資源活用補助金補助金 採択事業一覧表

申請事業	団体名	事業名	事業概要
歴史文化資源の普及啓発のためイベント事業	特定非営利活動法人 うちのの館	第3回 記紀・万葉ふるさとフェスティバル	第3回目の本年は、五條市内各地域20数か所にある御霊神社の祭神井上内親王の誕生1300年にあたる。「記紀・万葉 悲運の姫君」を共通のテーマに、古代史の女性像を取り上げる。
	一般社団法人 吉野デジタルビューロー	太平記回顧 「吉野朝廷を支えた歴史と誇り」	首都圏住民を対象に講演会を開催し、激動の太平記の時代に吉野朝廷を支えた人々の歴史と、今に伝わる誇り、文化を紹介することで吉野地域への訪問意欲を高める。また、来訪した首都圏住民等に現地研修を行い、実体験による真の吉野ファン作りに努める。
	なら橋プロジェクト推進協議会	橋の香り高き御朱印帳片手に 奈良の橋奉納寺社巡り	大和橋を奉納した西大寺において、奈良の伝統行事である大茶盛を経験してもらい、その後、香(植物療法、アロマセラピー)の専門家に「大和橋の香りの可能性と魅力」について講演していただく。橋の香をつけた御朱印帳を配布し、橋奉納寺社巡りにより、これからの歴史文化資源の普及啓発を展開する。
	特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会	なら記紀・万葉を味わい楽しむ シリーズ講演会	市民及び会員を対象に、著名な講師の助力を得て記紀万葉をテーマにした「シリーズ講演会」をゆかりの地で開催する。併せてソムリエの会のガイドによる史跡探訪などを実施することで、本物の奈良ファンの醸成を図る。
	NPO法人 古代ヤマトの郷づくり塾	古代ヤマトの郷魅力発見事業Ⅲ	日本文化の源流の地で、3世紀から4世紀に成立した大和王権の地である桜井・天理・磯上郡の広域観光振興をめざし、専門家によるセミナーと当地を巡るバス・ウォークツアーを企画し、参加者に当地の歴史文化の理解と親しみを深めていただくとともに、当地の地域振興と活性化に寄与する。
	EVENT-STATION.	EVENT-STATION. 第35回公演	神倭伊波礼毘古命(カムヤマトイワレヒコ)が奈良を訪れ、初代天皇に即位するまでの物語を、史実に書かれていない当時の人々の心象も描いたオリジナルストーリーを上演する。
	天理の七夕有志の会	石上神宮の七夕	記紀万葉にも登場する日本最古の神社の一つ「石上神宮」で、七夕イベントを開催し、県内外から人の集まる観光資源をつくる。七夕という誰もが知っている慣習文化を用いて、「夢は願うものではなく、目標に変え叶えていくものだ」という「自主自立の精神」「目標設定」の大切さを伝える機会にする。
	特定非営利活動法人 維新の魁・天誅組	明治維新150年前祭 (さきまつり)	本年は大政奉還より150年、平成30年は明治維新150年となることから「明治維新さきがけの地」といわれるここ五條市で、天誅組をはじめとする志士たちを改めて顕彰し観光客誘致に寄与するための事業を開催する。
	全国万葉協会	全国万葉ネットワーク 第23回 全国万葉フォーラム 全国万葉フォーラムin飛鳥 2017	当会会員である全国の万葉団体・グループ・個人及び一般の方々を結ぶネットワークが、万葉集を通じて、いかに生き生き活動しているかをシンポジウムで確認。交流会で親睦を深め、バスツアーにより大和万葉故地を実感してもらおう。
	あかり祭り実行委員会	あいさこいさ祭り 秋の伊勢街道 あかり祭り	古事記を纏めた国学者である本居宣長の縁の地である墨坂において、古い町並みをロウソクのあかりで照らし当時の雰囲気再現。時代行列や御神輿の練り歩きを行い、交通の要衝として栄えた頃を再現し、交流人口増加と活気を取り戻すことを目的とする。

## 平成29年度 文化資源活用補助金補助金 採択事業一覧表

申請事業	団体名	事業名	事業概要
歴史文化資源の普及啓発のためイベント事業	料理の神・協議会	うむぎ伝説 料理の祭典	日本書紀・景行天皇53年の条に綴られている「うむぎ伝説」の磐鹿六雁命(桜井では伊波我加利)は後に「料理の神」として崇められている。命をお祀りしている谷・若櫻神社を中心に安倍の本貫を全国に紹介し、三輪王朝の第3幕として体感頂き、合せて地場産業の振興による地域活性化に取り組む。
	河合町 観光ボランティアガイドの会	第9回 めざせ長屋王邸! 「片岡進上」木簡ウォーク	「片岡進上」と記された長屋王家木簡にちなみ約20kmの道のりを歩くことで、片岡御園から長屋王邸まで荷物を運んだ都夫良女などの先人の苦労を偲び、河合町と平城京とのゆかりを再認識する。商工会等に働きかけ、片岡御園から進上された野菜類を生産・商品化し地域の活性化に寄与したい。
	宇陀市の神話と歴史を考える会	戦国の群像 宇陀三将サミット	宇陀市には南北朝時代から戦国時代に関わる山城が三カ所ある。大宇陀の秋山城(現松山城)、澤城(榛原)、芳野城(菟田野)である。今回のイベントでは、3城主の末裔(子孫)の方々を招聘し、歴史講演と芳野城山頂登りのエクスカージョンを行い、参加者に戦国の群像と歴史のつながりを実感してもらう。
	王寺町観光協会	歴史リレー講座 「大和の古都はじめ」	古来「大和国」の入り口として栄えてきた王寺町で、大和の歴史文化がどのように生まれ、発展させてきたのかを特別講師を招いて紹介する講座である。また、リレー講座と併せて、学芸員によるミニ講座や、観光ボランティアガイドによる寺社案内などを実施し、歴史ある町の魅力を伝える。
	土舞台顕彰会	「土舞台」における 新しい芸術芸能創造事業	日本芸能発祥の地とされる史跡「土舞台」の存在と意義を広く知らせるため、また地域のコミュニティー再生の一助となることを目的に、奈良県在住の音楽家や舞踏家を中心に結成した楽団「土舞台ユーラシア・アンサンブル」の講演を開催し、地域に根ざした独自の表現を作り発信する。
	奈良市の隠れ里 Nyu farm実行委員会	五感で大和の心呼びさます ～モノオペラ『はねず色のこころ～ 郎女(いらつめ)の万葉恋歌』～	「五感で大和の心呼びさます」がテーマ。考古学者と共に歴史探訪、里山の味わい、モノオペラ鑑賞により五感全てを駆使し、大和のこころを感じていただけるイベントを開催する。モノオペラは、万葉集の代表的歌人大伴坂上郎女(おおとのさかのうえのいらつめ)の歌を取り上げたもので、次郎丸智希氏に作曲委嘱。当地で世界初演。
	山の辺の道 「奈良道」を守る会	山の辺の道 「奈良道」フォトコンテスト	我が国最古の道と称されている山の辺の道は、祈りの道でもあり、また記紀万葉の舞台でもある。この魅力ある里山の景観を広く世に紹介し、来訪者の増加に繋げるためフォトコンテストを実施する。
	大和路まほろばウオーク 実行委員会	第15回記念大和路まほろば ツデーウオーク ワンコインウオーク	毎年1回全国のウォーカーが奈良県に集まり、2日間の宿泊を伴う15年間連続開催のウォーキング大会である。全国からの参加者に奈良の文化的資産を歩いてしかできないふれあいの魅力を発信するイベントである。
	NPO法人 文化創造アルカ	奈良時代の女性たちに出会う講座	本事業では、奈良時代の女性たちを生き方を学び、考えに触れることで現代に生きる女性たちのヒントを得ることができる。講座とイベント(ワークショップ、ミニ講座)を東京で行い、奈良時代の新しい魅力をアピールし、奈良への来訪を促す。
	葛城市 観光ボランティアガイドの会	當麻寺のお練りと白鳳文化を探る	葛城人の誇り、1000年以上続く「聖衆来迎練供養会式(當麻寺練供養)」のクライマックスシーンを市民のホールで紹介し、併せて、観光ボランティアガイドによる中將姫ゆかりの地のエクスカージョンを実施する。